

地震から命を守る家具転倒防止対策

**地震だ！
まず身の安全**

していますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策



地震対策がされてないぞ！
これは危ない！

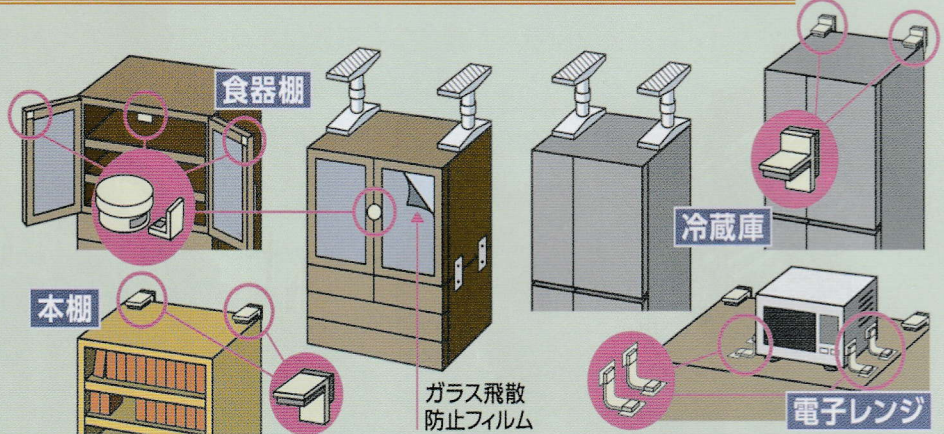


もしベッドで寝ていたら
大変なことに…すぐに
対策をしましょう！

東京消防庁が実施した近年の地震被害調査では、負傷者の3～5割の方々が、屋内における家具類の転倒・落下・移動によって負傷していました。ケガだけではなく、火災や避難障害など、地震による家具類の転倒等は、そのほかにも多くの危険をもたらします。

家具転倒防止対策の必要性や方法を学んであなた自身や大切な人を守るために家具転倒防止対策を実施しましょう！！

家具を傷つけないで実施できる家具転倒防止対策



オフィスに危険も潜んでいます！
～事業所でも発生する家具の転倒～

東日本大震災後、都内の中高層建物のオフィスにアンケートをした結果、20%のオフィス内において転倒・落下・移動が発生したとの回答がありました。階層が高くなるほど多く発生する傾向が確認されています。

オフィスなどの職場における家具類の転倒・落下・移動防止対策は、地震が発生した場合に、職場で働く人々や訪れた人々の負傷を防ぐことに加え、大切なデータや書類などの経営資源を守り、事業継続を図る上で大切な対策になります。

右の二次元コードからさらに詳しい家具転倒防止対策について学びましょう！



東京消防庁ホームページ
家具転倒防止対策について

【家具転倒防止対策に関するお問合せ】
石神井消防署 警防課
防災安全係 地域防災担当
電話：03-3995-0119(内線 322)

住宅でも注意！リチウムイオン電池関連火災を予防しよう



リチウムイオン電池関連火災とは…

リチウムイオン電池を搭載した製品（モバイルバッテリー、携帯電話機、コードレス掃除機等）から出火した火災のことです。

火災を防ぐ5つのポイント

1. 衝撃を与えない、分解しない
2. 指定された充電器を使用する
3. 燃えやすいものがない場所で充電する
4. 車内など熱がこもりやすい場所での使用は控える
5. 発熱などの異常がある場合は使用をやめ、製造業者や販売店に相談する

リチウムイオン電池
廃棄、分別方法はこちら



練馬区ホームページ

万が一**出火**してしまったら…！